



# extreme

株式会社エクストリーム

証券コード：6033

第20期

## 定時株主総会招集ご通知

**開催日時** 2025年6月24日(火曜日) 午後3時  
受付開始 午後2時30分

**開催場所** メトロポリタンプラザビル12階  
ステーションコンファレンス ルーム2  
東京都豊島区西池袋一丁目11番1号

**議案** 第1号議案 剰余金処分の件  
第2号議案 定款一部変更の件  
第3号議案 取締役1名選任の件  
第4号議案 補欠監査役1名選任の件

**議決権行使期限** 6月23日(月曜日) 午後5時まで

# 私たちエクストリームは、「デジタルクリエイター&ITエンジニア プロダクション」として、最先端の技術・



代表取締役社長CEO

## 佐藤 昌平

Shohei Sato

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第20期招集ご通知をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は2005年の創業以来「まじめに面白いを創る会社。未来の楽しいを造る会社。」を企業コンセプトとし、クリエイティブな開発スキルを有する「デジタルクリエイター&ITエンジニア プロダクション」として、デジタル人材事業、受託開発事業、コンテンツプロパティ事業を展開してまいりました。

おかげさまで2026年3月期は、設立20周年という節目を迎えることとなります。株主様の厚いご支援に、改めて感謝を申し上げます。

2025年3月期の経済環境を顧みますと、日本国内では、食料品やエネルギー価格を中心とした物価高が景気の下押し要因となりつつも、個人消費や設備投資といった内需を中心に底堅く推移しました。

# ノウハウを提供することで、デジタル社会の発展に貢献してまいります。

しかし、2025年に入ると、米国でトランプ大統領が誕生し、関税の引き上げに乗り出したことで、世界経済の減速リスクが高まり、年度末にかけて国内景気の下振れ懸念も強まりました。国際的な経済環境は、今後も予断を許さない状況が続くと考えられます。

当社グループを取り巻く事業環境は、IT投資に対する旺盛な需要と国内におけるデジタル人材の慢性的不足を背景に、今後も競争の激化が予想されます。

常に流動的な事業環境の中で、当社グループが今後10年、20年、あるいはその先も引き続き成長を続けるためには、当社の行動指針である「スピード×クオリティ×チャレンジ」を愚直に実践して行くことが必要であると、設立20周年を迎えるにあたり、改めて痛感しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年5月

企業  
コンセプト

まじめに面白いを**創**る会社。未来の楽しいを**造**る会社。

## 行動指針

### Speed

スピード

- 常にフルスピードを意識する。
- 今日できることは今日やる、今できることは今やる。
- 後回しにしない。

### Quality

クオリティ

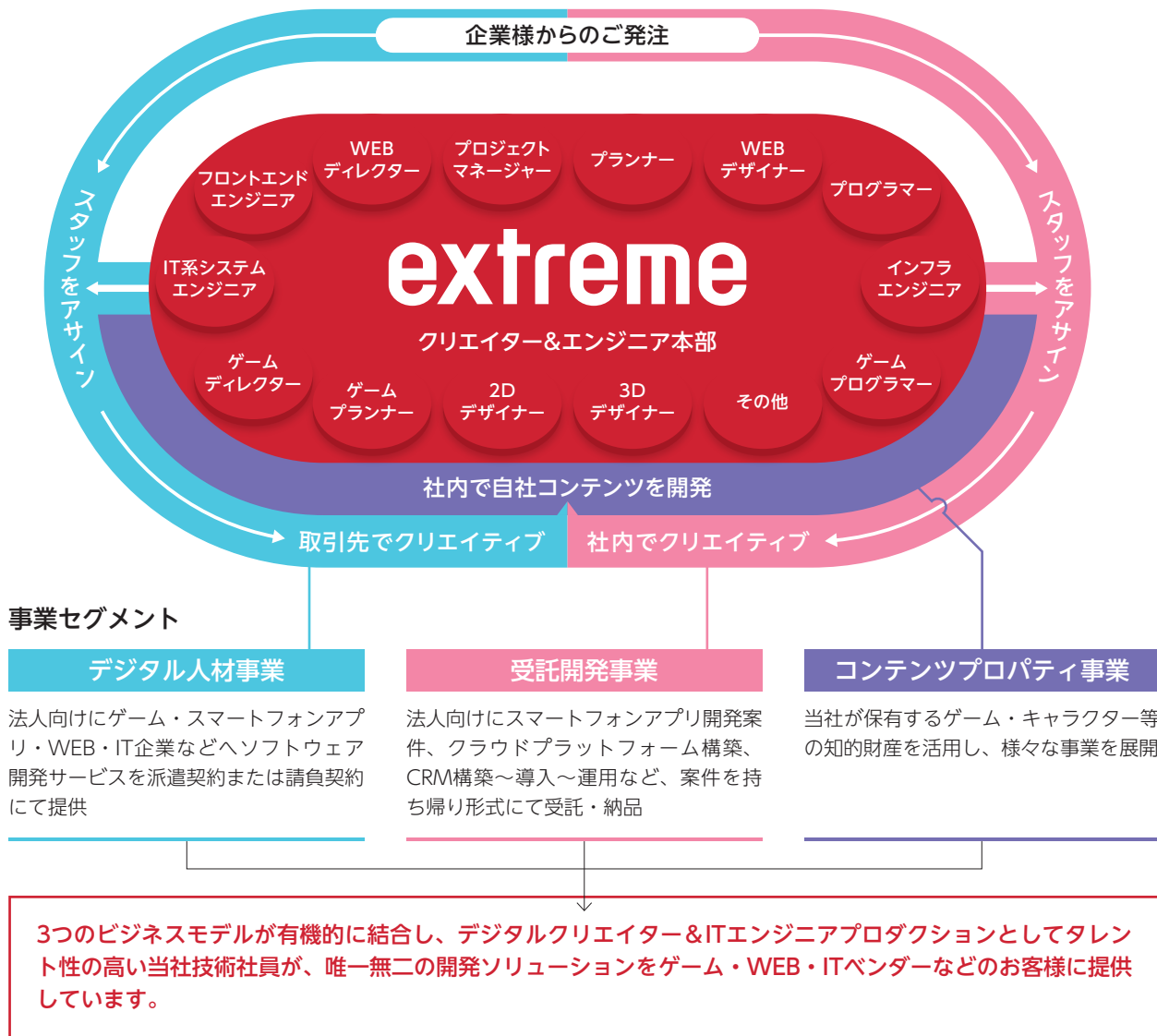
- 量は質に転化する。
- 妥協しない。
- 多彩なアイデアやチャレンジが高いクオリティに結実する。
- お客様が満足する成果物の一歩先を目指す。

### Challenge

チャレンジ

- 失敗を恐れずに前に踏み出す。
- 現状に満足せず、常に改善を心がける。

# デジタルクリエイター&ITエンジニアプロダクションが提供する 3つのビジネスモデル



株主各位

証券コード 6033  
発送日 2025年6月6日

東京都豊島区西池袋一丁目11番1号

株式会社エクストリーム

代表取締役社長CEO 佐藤 昌平

## 第20期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第20期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

<当社ウェブサイト>

<https://www.e-extreme.co.jp/ir>



上記ウェブサイトにアクセスいただき、メニューより「IRライブラリ」「株主総会関連資料」をご選択いただき、ご確認ください。

また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

<東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）>

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



上記ウェブサイトにアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「エクストリーム」又は「コード」に当社証券コード「6033」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法により議決権を行使することができますので、株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

また、本定時株主総会におきましては、お土産のご用意や株主懇談会の開催はございませんので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

## 議決権行使のご案内



書面により  
議決権を行使していただく場合



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、  
**2025年6月23日（月曜日）午後5時までに到着する**  
ようご返送ください。



株主総会への出席により  
議決権を行使していただく場合



当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を  
会場受付へご提出くださいますようお願い申し上げます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## 記

① 日 時	2025年6月24日（火曜日）午後3時（受付開始：午後2時30分）
② 場 所	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル12階 ステーションコンファレンス ルーム2 (末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)
③ 目的事項	<b>報告事項</b> 1. 第20期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 事業報告及び連結計算書類並びに会計監査人及び 監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第20期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 計算書類報告の件 <b>決議事項</b> 第1号議案 剰余金処分の件 第2号議案 定款一部変更の件 第3号議案 取締役1名選任の件 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
④ 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）	(1) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。 (2) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

以 上

- 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。また、資源節約のため、本定時株主総会招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。
- 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。
- 本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び定款第17条の規定に基づき、お送りする書面には記載しておりません。なお、監査役及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。
  1. 会社の新株予約権等に関する事項
  2. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況
  3. 連結計算書類の連結株主資本等変動計算書
  4. 連結計算書類の連結注記表
  5. 計算書類の株主資本等変動計算書
  6. 計算書類の個別注記表
  7. 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本
  8. 会計監査人の監査報告書 謄本
  9. 監査役会の監査報告書 謄本

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、株主の皆様への配当の充実を図りながら、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

このような方針に基づき、第20期につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

当期の期末配当につきましては、当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案し、以下のとおりといたしたいと存じます。

配当財産の種類

金銭といたします。

配当財産の割当てに関する事項  
及びその総額

当社普通株式1株につき金 **42円**  
配当総額 **224,855,736円**

剰余金の配当が効力を生じる日

2025年6月25日

#### 配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の事業展開と経営体質強化のために、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。具体的には、年1回の期末配当とし、**親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の目安**として、業績に応じた配当を実施してまいります。

第20期の配当につきましては、上記の方針に基づき、1株につき42円とさせていただきたいと存じます。





### 第3号議案

## 取締役1名選任の件

経営体制の一層の強化を図るため、取締役1名を増員することとし、その選任をお願いするものであります。なお、新たに選任された取締役の任期は、当社定款の定めにより、他の在任取締役の任期の満了すべき時までとなります。

取締役候補者は次のとおりであります。

こばやし かず き  
**小林 和 樹**

新任

生年月日

1974年4月6日生

所有する当社の株式数

0株

### 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

2000年11月	株式会社ウイズワン入社
2012年9月	株式会社カレン入社
2017年10月	株式会社オルトプラス入社
2020年6月	当社入社
2020年6月	株式会社エクストラボ 取締役就任
2024年6月	株式会社エクストラボ 代表取締役就任（現任）

### 重要な兼職の状況

株式会社エクストラボ 代表取締役

### 取締役の候補者とした理由

小林和樹氏は、開発技術者及びプロジェクトマネージャーとしての豊富な経験と実績を有しており、現在株式会社エクストラボの代表取締役を務めております。今後は当社の取締役として、当社グループの事業成長にもその知見を活かしていくことを期待し、選任をお願いするものであります。

(注) 1. 候補者小林和樹氏と当社との間には、特別の利害関係はありません。

2. 当社は、保険会社との間で、当社の取締役及び監査役（当事業年度中に在任していた者を含む。）を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。当該保険契約の内容の概要は、被保険者である対象役員が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補填するものであり、1年毎に契約更新しております。候補者小林和樹氏が取締役就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

## 第4号議案

## 補欠監査役1名選任の件

監査役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備え、補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。なお、本議案につきましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。補欠監査役候補者は次のとおりであります。

なが さわ まさ ひろ  
**長澤正浩**

### 生年月日

1954年4月1日生

### 所有する当社の株式数

0株

### 略歴、地位及び重要な兼職の状況

1979年4月	荒木税務会計事務所入所
1981年10月	プライスウォーターハウス公認会計士事務所 (現 PwC Japan 有限責任監査法人) 入所
1984年4月	新和監査法人(現 有限責任 あずさ監査法人) 入所
1985年3月	公認会計士登録
2002年8月	朝日監査法人(現 有限責任 あずさ監査法人) 代表社員就任
2012年6月	有限責任 あずさ監査法人退任
2012年7月	長澤公認会計士事務所代表(現任)
2013年4月	当社社外監査役就任
2013年6月	株式会社イワキ 社外監査役就任(現任)
2014年5月	株式会社東京個別指導学院 社外監査役就任(現任)
2017年2月	当社社外監査役就任

### 重要な兼職の状況

長澤公認会計士事務所 代表  
株式会社イワキ 社外監査役  
株式会社東京個別指導学院 社外監査役

### 補欠の社外監査役候補者とした理由

長澤正浩氏は、過去に社外役員となること以外の方法で直接会社経営に関与した経験はありませんが、公認会計士としての業務経験を当社の事業全般の監査に活かしていただいたことに加え、財務及び会計に関する相当程度の知見に基づく企業会計の専門的見地から当社の経営を監視していただくとともに、公認会計士事務所経営を含めた経験から経営全般において助言をいただくことでコーポレート・ガバナンスのさらなる強化を期待して、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 候補者長澤正浩氏と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 候補者長澤正浩氏は補欠の社外監査役として選任するものです。
3. 候補者長澤正浩氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、候補者長澤正浩氏が社外監査役に就任した場合は、当社は同氏を独立役員として同取引所へ届け出る予定であります。
4. 候補者長澤正浩氏が社外監査役に就任した場合は、当社との間で、会社法第427条第1項に基づき、同法第423条第1項に関する責任について、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、法令が定める額を賠償限度とする責任限定契約を締結する予定であります。
5. 当社は、保険会社との間で、当社の取締役及び監査役（当事業年度中に在任していた者を含む。）を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。当該保険契約の内容の概要は、被保険者である対象役員が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補填するものであり、1年毎に契約更新しております。候補者長澤正浩氏が社外監査役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

以 上

# 事業報告 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

## 1 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### 事業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、国際的な地域紛争に起因する資源価格の高騰、世界的な金融引締めや急激な為替変動等、経済環境は先行き不透明な状況が続きました。わが国経済においては、このところ一部に足踏みがみられるものの、個人投資や設備投資等が緩やかに持ち直しており、先行きについても、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復が続くことが期待されています。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、技術ソリューションを提供する「デジタル人材事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は11,336,259千円、営業利益は1,517,847千円、経常利益は1,664,129千円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,130,351千円となりました。



	第19期 (2024年3月期)	第20期 (2025年3月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)
売上高	10,217,437	11,336,259
営業利益	1,097,380	1,517,847
経常利益	1,448,825	1,664,129
親会社株主に帰属する当期純利益	1,034,396	1,130,351

企業集団の事業区分別売上状況は次のとおりであります。

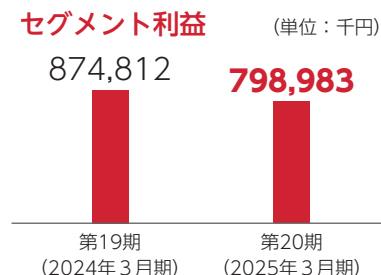
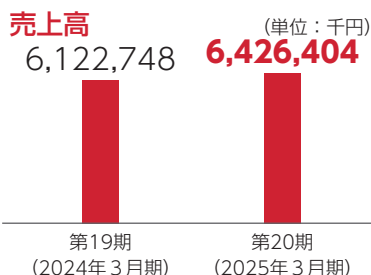
## デジタル人材事業

### <主要な事業内容>

ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などへソフトウェア開発サービスを派遣契約または請負契約にて提供しております。

売上高 **6,426,404**千円    セグメント利益 **798,983**千円

### 売上高構成比



デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当連結会計年度においては、引き続きゲーム業界の厳しい市場環境を背景に、エンターテインメント業界における受注獲得に苦戦する一方、技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、非エンターテインメント業界における受注は好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は9,381（前年同期稼働プロジェクト数は9,052）となりました。また、国内におけるIT技術者不足に起因する技術社員の採用競争の激化にも直面しており、外部協力会社の開発要員への依存度が高まりつつあります。

この結果、当連結会計年度における売上高は6,426,404千円、セグメント利益は798,983千円となりました。

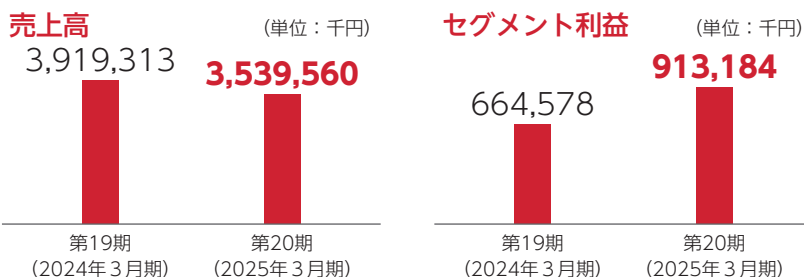
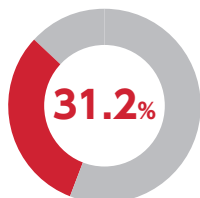
## 受託開発事業

### <主要な事業内容>

スマートフォンアプリまたはWEB開発案件、大規模会員向けプラットフォームシステムの構築～導入～運用などの案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。

売上高 **3,539,560**千円 セグメント利益 **913,184**千円

### 売上高構成比



受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規開発」「保守・運用」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co.,LTD.、エス・イー・エス株式会社、酒田エス・イー・エス株式会社については当該事業に含まれます。

当連結会計年度においては、企業のデジタル施策への投資拡大を背景に堅調に推移しました。受注増加や案件規模の拡大が開発リソースの効率化に寄与し、収益性が向上しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,539,560千円、セグメント利益は913,184千円となりました。

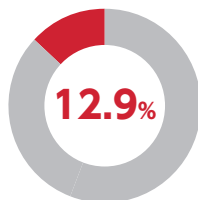
## コンテンツプロパティ事業

### <主要な事業内容>

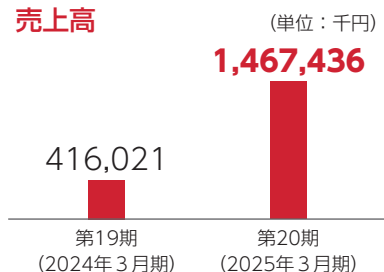
当社グループが保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであります。

売上高 **1,467,436**千円 セグメント利益 **670,961**千円

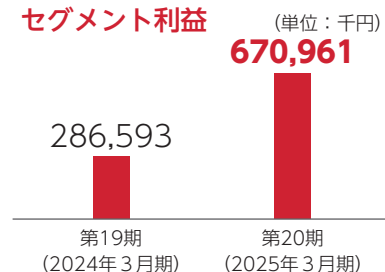
### 売上高構成比



### 売上高



### セグメント利益



コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社Dragami Gamesは当該事業に含まれます。

当連結会計年度においては、当社が権利保有するゲームタイトルのライセンス収益の他、株式会社Dragami Gamesにおいて発売した「LOLLIPOP CHAINSAW RePOP」のゲーム販売額も発生しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は1,467,436千円、セグメント利益は670,961千円となりました。

## (2) 設備投資の状況

該当事項はありません。

## (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。



## (4) 対処すべき課題

### <デジタル人材事業>

#### ① エンジニアの確保

当事業における重要な要素は、当社社員であるクリエイターまたはエンジニアであり、現在までに当該社員数とサービス提供先企業数が順調に推移してきたことから、業容を拡大してまいりました。一方で慢性的な技術人材不足は今後も継続すると予想されております。このため、当社ではさらなるクリエイター及びエンジニアの確保及び社員定着率の向上を図る必要があると認識しております。そのため、福利厚生、研修制度、技術交流などを充実させ、社員コミュニケーションの活性化による帰属意識とロイヤルティを高め、人材確保に努めてまいります。

#### ② サービス提供先の適切な選別

当事業は、これまでエンターテインメント系企業を主要顧客としてきましたが、エンターテインメント業界は娯楽産業であるため景況感に左右される要素があり、需要の変動が大きく変化する場合があります。このため当社ではエンターテインメント系企業の顧客に留まらず、クリエイティブなスキルが要求されるインターネットサービス業界など当社社員の技術力をシームレスに活用できる分野へも積極的に参入し、収益の安定化を図ってまいります。

#### ③ 教育・研修制度の強化

技術者に求められるスキルは日進月歩であり、当社社員であるクリエイターまたはエンジニアにおいても、常に顧客ニーズや技術環境に適したサービスが提供できるよう、社内外の教育・研修制度を通じ、技術力の継続的な向上を図ってまいります。

#### ④ 技術力の蓄積及び共有

当事業に従事する当社社員は、顧客企業に常駐しているため、社員同士による即時的な技術共有などにおいて課題があります。このため、当社では自社による技術情報蓄積システムを運用し、社員がどのような環境下においても当社が蓄積してきた技術情報を即時に参照できる仕組みを構築しておりますが、今後も技術情報のさらなる蓄積と各種業務の標準化を推し進め、属人的なスキルに偏らない、企業としての技術力の担保をさらに図ってまいります。

## <受託開発事業>

### ① 営業体制の強化

効率的かつ機動力のある営業体制を確立するために、営業人員の増加はもとより、デジタル人材事業との連携及び業務提携等によるパートナー戦略の拡充を図り、新規ビジネス機会の創出、パートナー先との協業による複合的なITソリューションの提供等による新たな顧客基盤の確立とさらなる事業の拡大を目指してまいります。

### ② ストック型ビジネスの拡大による収益基盤の安定化

当事業では、収益区分をフロー型とストック型に切り分けることができます。このうち、ストック型ビジネスはシステムやアプリケーション等の運用保守業務や顧客向けに体制を構築して開発機能を提供するラボ型サービスが該当します。これらの案件は、長期的かつ安定的な収益源となるため、今後も案件の新規獲得、案件規模の拡大に注力してまいります。また、そのためにも、単なる開発ベンダーではなく顧客の事業パートナーとしての立ち位置から適宜改善提案を行い、顧客との信頼関係を構築しながら長期的な取引の維持に努めてまいります。

### ③ 優秀な人材の確保

当事業においては、優秀な人材の確保・育成が今後の経営基盤を維持・拡大するうえで不可欠であると認識しております。技術者については、デジタル人材事業または子会社等との連携により、機動的に優秀な人材を配置することができる強みを持っているものの、プロジェクトの遂行において重要な役割を担うプロジェクトマネージャーについては、不足している状況があります。これらの課題を解決するために、即戦力のキャリア採用を中心に、当社独自の教育・研修制度などを通じて、プロジェクトマネジメント層の育成を一層強化してまいります。

## <コンテンツプロパティ事業>

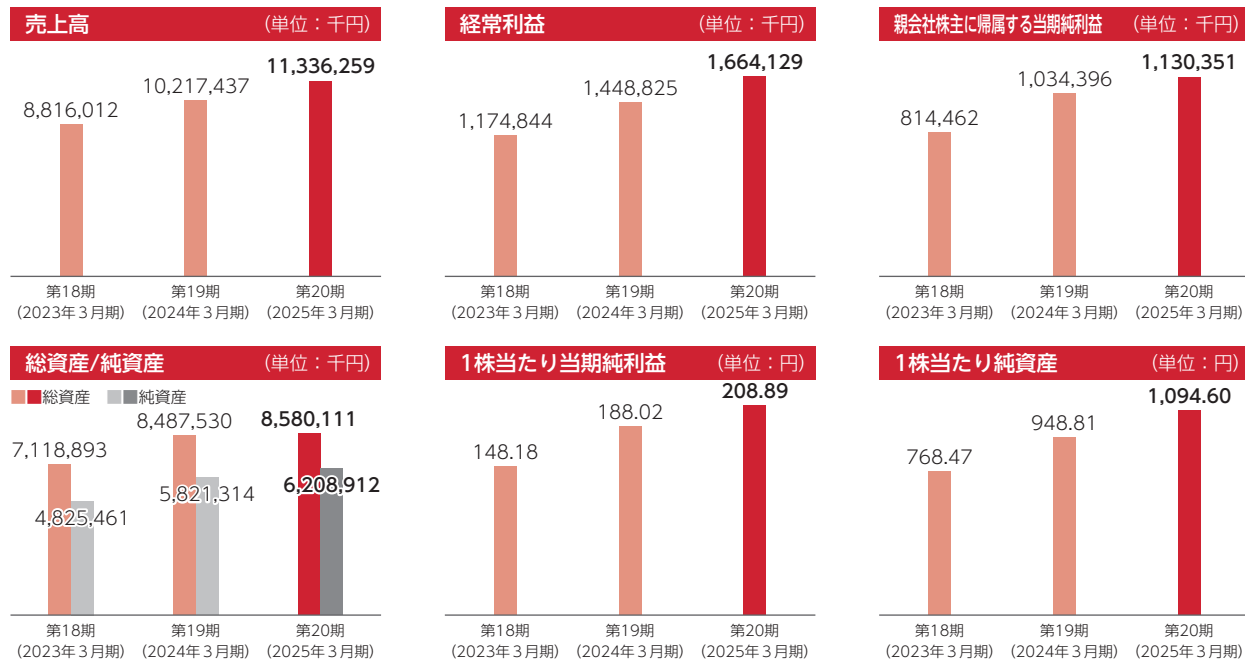
### ① 収益源の確保

当事業は、自社保有IPやゲームキャラクターを活用したライセンス事業を主なサービス領域として展開してまいりましたが、ライセンス事業にとどまらず、自社製品の強化などを通じ、サービスポートフォリオの拡充に努めてまいります。

### ② 知的財産権への対応

当事業においては、ゲームタイトル・ゲームキャラクターなどの知的財産を第三者へ許諾することにより、ロイヤルティを得るライセンス事業が主要な収益となっております。許諾先が国内に留まらず、海外においても成果が発生していることから、各許諾地域における商標登録、意匠登録等を適切に行い、模造品などによる被害が発生しないよう、引き続き権利保全を図ってまいります。

## (5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況



		第17期 (2022年3月期)	第18期 (2023年3月期)	第19期 (2024年3月期)	第20期 (当連結会計年度) (2025年3月期)
売上高	(千円)	7,231,671	8,816,012	10,217,437	11,336,259
経常利益	(千円)	714,087	1,174,844	1,448,825	1,664,129
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	452,636	814,462	1,034,396	1,130,351
1株当たり当期純利益	(円)	82.61	148.18	188.02	208.89
総資産	(千円)	5,030,716	7,118,893	8,487,530	8,580,111
純資産	(千円)	3,824,028	4,825,461	5,821,314	6,208,912
1株当たり純資産	(円)	641.14	768.47	948.81	1,094.60

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づいて算出しております。  
2. 1株当たり純資産額は、期末発行済株式総数に基づいて算出しております。

## (6) 主要な営業所

名称	所在地
本社	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
名古屋オフィス	愛知県名古屋市中区名駅一丁目1番17号

## (7) 従業員の状況

### ① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数	前連結会計年度末比増減
デジタル人材事業	407名	12名増
受託開発事業	221名	32名減
コンテンツプロパティ事業	9名	5名減
全社（共通）	58名	7名減
合計	695名	32名減

(注) 1. 従業員数は就業人数であります。

2. 「全社（共通）」として記載している従業員数は、管理部門及びヒューマンリソース部門に所属しているものであります。

### ② 当社の従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
486名	2名増	35.4歳	4.48年

(注) 従業員数は就業人員であります。

## (8) 主要な借入先

借入先	借入額
株式会社三菱UFJ銀行	659,600千円

## (9) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社との関係

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な業務内容
株式会社エクストラボ	10,000千円	100.0%	ITサービスの開発及び関連事業
EXTREME VIETNAM Co.,LTD.	42,484百万ベトナムドン	100.0%	ITサービスの開発及び関連事業
株式会社Dragami Games	300,000千円	93.3%	ゲームソフトの企画・開発・販売
エス・イー・エス株式会社	34,000千円	51.3%	ゲーム開発・組込システム開発

## 2 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 : 14,288,000株

(2) 発行済株式の総数 : 5,507,676株 (自己株式153,968株を含む)

(注) 普通株式の発行済株式数の増加5,300株は、新株予約権の行使による増加であります。

(3) 株主数 : 2,565名

### (4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
佐藤 昌平	2,455,800株	45.87%
株式会社E P A R K	182,976株	3.42%
山下 良久	163,300株	3.05%
上田八木短資株式会社	127,400株	2.38%
西村 裕二	96,600株	1.80%
泉 裕治	95,500株	1.78%
長岡 裕二	95,100株	1.78%
由佐 秀一郎	70,000株	1.31%
泉 有希子	66,700株	1.25%
J P L L C - C L J P Y	60,300株	1.13%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### (5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

### 3 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の氏名等

氏名	地位	担当及び重要な兼職の状況	
佐藤 昌平	代表取締役社長CEO		
島田 善教	取締役	管理本部長	
梅木 元博	取締役	エス・エー・エス株式会社 酒田エス・エー・エス株式会社	代表取締役 代表取締役
山口 十思雄	取締役	山口公認会計士事務所 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル	代表 社外監査役
森谷 和正	常勤監査役	公認会計士 森谷和正事務所	代表
西田 弥代	監査役	弁護士（隼あすか法律事務所所属） 株式会社ギガプライズ 天馬株式会社 株式会社property technologies 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス	社外監査役 社外取締役（監査等委員） 社外監査役 社外監査役
楠元 克成	監査役	楠元公認会計士事務所 楠元企業成長コンサルティング合同会社	代表 代表社員

(注) 1 取締役 山口十思雄氏は、社外取締役であります。

2 監査役 森谷和正氏、西田弥代氏、楠元克成氏は、社外監査役であります。

3. 当社は、取締役 山口十思雄氏、監査役 森谷和正氏、西田弥代氏、楠元克成氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

4. 監査役 森谷和正氏、楠元克成氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する幅広い専門的知見を有しております。

5. 監査役 西田弥代氏の戸籍上の氏名は川口弥代であります。

#### (2) 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役及び社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役及び各社外監査役ともに同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

#### (3) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で、当社の取締役及び監査役（当事業年度中に在任していた者を含む。）を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。当該保険契約の内容の概要は、被保険者である対象役員が、その職務の執行に関し責任を負うこと又



は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補填するものであり、1年毎に契約更新しております。

#### **(4) 取締役及び監査役の報酬等**

当社は、2021年1月15日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。また、取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることや、当該決定方針に沿うものであると判断しております。取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針の内容は次のとおりです。

##### **1. 基本方針**

当社の取締役の報酬は、各職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針とします。

具体的には、月例の固定報酬とし、役位、職責、在任年数に応じて他社水準、当社の業績、従業員給与の水準をも考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとします。

##### **2. 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項**

個人別の報酬額については取締役会決議にもとづき代表取締役社長CEO 佐藤昌平氏がその具体的内容について委任をうけるものとし、その権限の内容は、月例の固定報酬の額とします。代表取締役に委任した理由は、会社法上、株主様から委任されて経営する立場にある取締役のうち、経営責任者である代表取締役が決定方針に基づいて決定することが適切であると判断したためであります。

なお、取締役会は、当該権限が代表取締役によって適切に行使されるよう、社外取締役に原案を諮問し助言を得るものとし、上記の委任を受けた代表取締役は、当該助言の内容に従って決定をしなければならないこととします。

##### **3. 取締役会が報酬の決定方針に沿うものと判断した理由**

当事業年度においては、代表取締役が役位、職責、在任年数、他社水準、当社の業績、従業員給与の水準等を考慮した上で決定した取締役の報酬額について、社外取締役の同意を得ていることから、取締役会は取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると判断しております。

#### **(5) 取締役及び監査役の報酬等の額**

当社の取締役及び監査役の報酬は、固定報酬で構成されており、株主総会で決議された報酬限度額の範囲内において決定しております。なお、取締役及び監査役の報酬限度は、2023年6月28日開催の定時株主総会において取締役は年額300百万円以内（うち社外取締役分は年額50百万円以内（当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は4名（うち、社外取締役は1名））、監査役は年額50百万円以内（当該定時株主総会終結時点の監査役の員数は3名）と決議しております。また、監査役の報酬については、報酬限度額の範囲内で、監査役協議を経て決定し

ております。

取締役4名 81,438千円（うち社外 1名 5,070千円）

監査役3名 15,360千円（うち社外 3名 15,360千円）

（注）取締役の支給額には使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

## (6) 社外役員に関する事項

### ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

取締役 山口十思雄氏は、山口公認会計士事務所の代表、デジタルメディアプロフェッショナルの社外監査役であります。当社と各兼職先との間には特別な関係はありません。

監査役 森谷和正氏は、公認会計士 森谷和正事務所の代表であります。当社と兼職先との間には特別な関係はありません。

監査役 西田弥代氏は、隼あすか法律事務所所属の弁護士、株式会社ギガプライズ社外監査役、天馬株式会社社外取締役（監査等委員）、株式会社property technologies、株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス社外監査役であります。当社と各兼職先との間には特別な関係はありません。

監査役 楠元克成氏は、楠元公認会計士事務所の代表、楠元企業成長コンサルティング合同会社の代表社員であります。当社と各兼職先との間には特別な関係はありません。

### ② 当事業年度における主な活動状況

		出席状況、発言状況及び社外役員に期待される役割に関して行った職務の概要
取締役	山口 十思雄	当事業年度に開催された取締役会14回の全て、月次で開催される経営会議12回のうち12回全てに出席いたしました。主に公認会計士の見地から、取締役会及び経営会議では当該視点から積極的に意見を述べており、特にM&Aについて専門的な立場から監督、助言を行うなど、意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしております。
監査役	森谷 和正	当事業年度に開催された取締役会14回の全て、監査役会14回の全てに出席いたしました。公認会計士としての専門の見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の会計処理並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。
監査役	西田 弥代	当事業年度に開催された取締役会14回の全て、監査役会14回の全てに出席いたしました。弁護士としての専門の見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社のコンプライアンス体制等について適宜、必要な発言を行っております。
監査役	楠元 克成	当事業年度に開催された取締役会14回の全て、監査役会14回の全てに出席いたしました。公認会計士としての専門の見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の会計処理並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。

## 4 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の名称

RSM清和監査法人

### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

① 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	30,000千円
② 当社及び子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	30,000千円

- (注) 1. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、過年度の監査計画における監査項目別、階層別監査時間の実績及び報酬額の推移並びに会計監査人の職務遂行状況を確認し、当事業年度の監査計画及び報酬額の妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等について同意を行っております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

### (3) 非監査業務の内容

当社は会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の監査証明業務以外の業務を委託しておりません。

### (4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると判断した場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任する方針です。また、会計監査人の法令違反、適格性・独立性を害する事由の発生等により、会計監査人が職務を適切に遂行することが困難と認められる場合には、監査役会は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定します。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	(ご参考)第19期 2024年3月31日現在	第20期 2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,243,898</b>	<b>6,392,698</b>
現金及び預金	3,935,928	4,605,862
受取手形	570	—
売掛金	1,419,549	1,223,195
有価証券	208,906	264,520
製品	128	434
仕掛品	373,513	143,162
前払費用	148,267	50,228
その他	157,571	104,625
貸倒引当金	△537	△382
<b>固定資産</b>	<b>2,243,631</b>	<b>2,187,413</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>84,804</b>	<b>139,989</b>
建物及び構築物	105,220	129,009
減価償却累計額	△55,124	△49,183
建物及び構築物（純額）	50,095	79,825
車両運搬具及び工具器具備品	187,485	231,657
減価償却累計額	△152,777	△171,493
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	34,708	60,164
<b>無形固定資産</b>	<b>257,543</b>	<b>196,315</b>
ソフトウェア	70,550	44,058
ソフトウェア仮勘定	1,517	—
のれん	185,476	152,256
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,901,283</b>	<b>1,851,108</b>
投資有価証券	1,357,458	1,499,078
関係会社株式	190,433	—
長期前払費用	150,259	31,278
繰延税金資産	71,548	95,953
破産更生債権等	8,527	8,527
その他	131,582	224,797
貸倒引当金	△8,527	△8,527
<b>資産合計</b>	<b>8,487,530</b>	<b>8,580,111</b>

科目	(ご参考)第19期 2024年3月31日現在	第20期 2025年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,623,091</b>	<b>2,358,405</b>
短期借入金	850,000	650,000
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	9,600
未払金	1,030,921	934,121
未払費用	131,345	117,411
未払法人税等	247,021	330,604
未払消費税等	96,845	92,241
賞与引当金	155,053	165,588
受注損失引当金	18,899	3,123
その他	54,444	50,714
<b>固定負債</b>	<b>43,124</b>	<b>12,793</b>
社債	5,000	—
長期借入金	9,600	—
退職給付に係る負債	13,354	12,335
繰延税金負債	15,170	458
<b>負債合計</b>	<b>2,666,215</b>	<b>2,371,199</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>5,093,998</b>	<b>5,759,631</b>
資本金	419,451	424,187
資本剰余金	413,258	417,994
利益剰余金	4,262,447	5,118,430
自己株式	△1,159	△200,981
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>125,892</b>	<b>100,533</b>
その他有価証券評価差額金	105,839	93,972
為替換算調整勘定	20,053	6,560
<b>新株予約権</b>	<b>20,274</b>	<b>14,687</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>581,148</b>	<b>334,059</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,821,314</b>	<b>6,208,912</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,487,530</b>	<b>8,580,111</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	(ご参考)第19期	第20期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	10,217,437	11,336,259
売上原価	7,320,512	7,799,820
売上総利益	2,896,924	3,536,438
販売費及び一般管理費	1,799,544	2,018,591
営業利益	1,097,380	1,517,847
営業外収益	363,541	160,161
受取利息	51,493	56,470
有価証券利息	60,655	59,320
為替差益	181,950	16,283
助成金収入	1,160	90
投資有価証券売却益	30,864	9,366
持分法による投資利益	27,084	4,877
受益権売却益	4,466	—
その他	5,867	13,753
営業外費用	12,096	13,879
支払利息	2,820	4,635
社債利息	74	52
支払手数料	6,793	8,040
消費税差額	—	1,133
その他	2,408	17
経常利益	1,448,825	1,664,129
特別利益	—	3,208
新株予約権戻入益	—	3,208
特別損失	—	63,086
固定資産除却損	—	63,086
税金等調整前当期純利益	1,448,825	1,604,250
法人税、住民税及び事業税	413,261	489,657
法人税等調整額	△36,272	△35,759
当期純利益	1,071,836	1,150,353
非支配株主に帰属する当期純利益	37,439	20,001
親会社株主に帰属する当期純利益	1,034,396	1,130,351

# 計算書類

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	(ご参考)第19期 2024年3月31日現在	第20期 2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>3,923,973</b>	<b>3,700,594</b>
現金及び預金	2,570,217	2,507,088
売掛金	803,700	809,346
有価証券	208,906	264,520
仕掛品	1,261	414
前払費用	25,937	30,544
関係会社短期貸付金	227,253	26,913
その他	87,233	62,148
貸倒引当金	△537	△382
<b>固定資産</b>	<b>3,050,601</b>	<b>2,829,119</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>43,323</b>	<b>106,381</b>
建物	49,252	89,134
減価償却累計額	△23,133	△27,117
建物（純額）	26,119	62,016
工具、器具及び備品	114,921	155,039
減価償却累計額	△97,716	△110,674
工具、器具及び備品（純額）	17,204	44,364
<b>無形固定資産</b>	<b>55,567</b>	<b>31,634</b>
ソフトウェア	54,050	31,634
ソフトウェア仮勘定	1,517	—
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,951,710</b>	<b>2,691,104</b>
投資有価証券	1,357,458	1,499,078
関係会社長期貸付金	45,423	17,942
関係会社株式	1,368,051	888,051
長期前払費用	27,931	21,830
繰延税金資産	56,280	86,807
破産更生債権等	8,527	8,527
その他	96,565	177,394
貸倒引当金	△8,527	△8,527
<b>資産合計</b>	<b>6,974,574</b>	<b>6,529,714</b>

科目	(ご参考)第19期 2024年3月31日現在	第20期 2025年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,072,023</b>	<b>1,712,223</b>
短期借入金	850,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	9,600
未払金	805,090	789,062
未払費用	65,072	54,184
未払法人税等	98,722	14,819
未払消費税等	53,055	32,204
預り金	32,852	13,622
賞与引当金	138,669	148,731
<b>固定負債</b>	<b>9,600</b>	<b>—</b>
長期借入金	9,600	—
<b>負債合計</b>	<b>2,081,623</b>	<b>1,712,223</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>4,766,837</b>	<b>4,708,829</b>
<b>資本金</b>	<b>419,451</b>	<b>424,187</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>418,158</b>	<b>422,894</b>
資本準備金	404,318	409,053
その他資本剰余金	13,840	13,840
<b>利益剰余金</b>	<b>3,930,386</b>	<b>4,062,729</b>
その他利益剰余金	3,930,386	4,062,729
繰越利益剰余金	3,930,386	4,062,729
<b>自己株式</b>	<b>△1,159</b>	<b>△200,981</b>
<b>評価・換算差額等</b>	<b>105,839</b>	<b>93,972</b>
その他有価証券評価差額金	105,839	93,972
<b>新株予約権</b>	<b>20,274</b>	<b>14,687</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,892,950</b>	<b>4,817,490</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,974,574</b>	<b>6,529,714</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	(ご参考)第19期	第20期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	6,867,218	7,068,544
売上原価	5,103,805	5,303,957
売上総利益	1,763,413	1,764,587
販売費及び一般管理費	1,229,511	1,518,823
営業利益	533,901	245,763
営業外収益	427,124	245,854
受取利息	54,996	58,438
有価証券利息	60,655	59,320
受取配当金	55,105	67,261
為替差益	189,642	—
業務受託手数料	34,411	44,781
助成金収入	1,160	90
投資有価証券売却益	30,864	9,366
その他	288	6,595
営業外費用	11,847	29,850
支払利息	2,819	4,628
支払手数料	6,793	8,040
為替差損	—	16,034
その他	2,233	1,147
経常利益	949,178	461,767
特別利益	—	11,882
新株予約権戻入益	—	3,208
関係会社株式売却益	—	8,674
特別損失	—	63,083
固定資産除却損	—	63,083
税引前当期純利益	949,178	410,567
法人税、住民税及び事業税	227,947	96,236
法人税等調整額	△23,102	△27,069
当期純利益	744,334	341,400





## 9月 『LOLLIPOP CHAINSAW RePOP』 (DIGITAL) 全世界同時発売

エクストリームグループの株式会社Dragami Gamesより、2012年に全世界で発売されたゾンビアクションゲーム「ロリポップチェーンソー」のリメイク版である『LOLLIPOP CHAINSAW RePOP』(DIGITAL) が2024年9月26日に全世界同時発売。

2025年1月には世界累計販売本数20万本を突破。



10

11

12

1

2

3

### 池袋西口公園イルミネーション協賛

2019年より当社が特別協賛する「池袋西口公園extreme イルミネーション」は、「豊島区の街のにぎわい」「池袋のナイトライフ観光」を盛り上げる目的で、豊島区と池袋駅西口エリアの各商店街と企業が共同で開催するイルミネーションイベントです。

### 12月 オフィス増床



業務拡大に伴い、本社オフィスのフロアを同ビル15階に増床し、同時に池袋開発室（同ビルWeWork内）を統合。

### 21階オフィス改装「Co-CORE」リニューアル



本社オフィス増床に伴い、社内施設「Co-CORE」を全面改修。社員交流の場に加えて、ワーキングスペースとして利用できる空間へ生まれ変わりました。



### 1月 大阪オフィス開設



関西地域におけるデジタル人材事業の受注案件増加及び事業規模拡大に対応するため、2025年1月に大阪オフィスを開設。

### 2月 エクストリームフリーランスWEBCM「記者会見」編 配信開始

俳優の山之内すずさんを起用したWEBCM。フリーランサーの悩みや疑問を「記者」からの質問として取り上げるユニークな形式のWEBCM。2025年2月20日より配信開始。



# トピックス

(2024年4月～2025年3月)

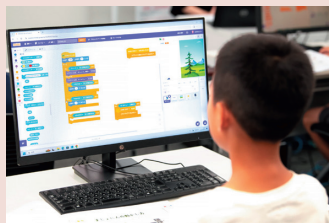
2025年3月期は、事業拡大により本社増床を行うとともに、人材の更なる獲得・定着を目的に社内交流施設「Co-CORE」のリニューアルを実施。さらに、デジタル人材事業の一層の拡大のために大阪オフィスを開設しております。

また、株式会社Dragami Gamesより「LOLLIPOP CHAINSAW RePOP」が発売されるなど、コンテンツプロパティ事業に大きな動きがありました。

## 4月 ラングリッサーモバイル5周年



スマートフォンアプリ「ラングリッサーモバイル」が日本におけるサービス開始から5年を迎えました。これを記念して、東京・大阪の2箇所で開催された広告出稿などが行われました。



2018年より毎年開催している子ども達にデジタルクリエイティブの楽しさを伝えるためのワークショップ「池袋デジタル寺子屋」。小学校のプログラミング学習でも取り入れられているScratch（スクラッチ）を使いシューティングゲーム制作を行いました。

## 9月 池袋デジタル寺子屋開催

## 4月～ MASAYA GAMES IPタイトルが続々リリース



2024年4月の「重装機兵レイノス2」を皮切りに、改造町人シュビビンマン・シリーズの「3」・「零」を連続してリリース。2025年3月にはシリーズ全タイトルをパッケージ化した「改造町人シュビビンマン コンプリートコレクション」をリリースしました。

2024年12月の「超兄貴」のリリースでは、関連したIPのグッズも発売されました。



## 5月～ 社内勉強会「eaTech」定期開催

“技術を味見する感覚で楽しく学ぶ”をコンセプトとした社内勉強会。在籍社員が講師を務め、個々のスキルアップと社員同士の交流を深める勉強会。



